



朝日野総合病院
整形外科センター長
辻 王成 副院長

【プロフィール】
専門分野 ・脊椎外科・骨粗しょう症
・スポーツ障害
日本整形外科学会・専門医

辻副院長は、年間約650人の骨粗しょう症患者の診断・治療を行っています。豊富な経験を元に、1人ひとりに合った治療を提案してくれます

骨粗しょう症の患者をサポートする「医療スタッフ」

骨折を予防するためには

①食事 ②運動 ③薬(服薬など)

など、根気よく続けることが大切。

朝日野総合病院では、医師や看護師、

薬剤師などの医療スタッフが一丸

となってサポートしてくれます



【問合せ】 ☎096(344)3000

住/北区室園町12-10

診療/月～金: 9:00～12:30、13:30～17:30

(外来リハビリ: 9:00～13:00、14:00～17:30)

(歯科: 9:00～12:30、13:30～17:30)

土: 9:00～12:30 休診日/日・祝日・年末年始



HP



骨折を予防して、いつまでも元気に動ける体を「医療スタッフがチームでサポートします」

医療法人 朝日野会 朝日野総合病院

これまで積極的に骨粗しょう症治療に取り組んできた朝日野総合病院の辻副院長によると「昨年の当院のデータで、骨粗しょう症が原因で大腿骨を骨折し入院した高齢の患者さんの約4割は退院先が施設でした。また、中には気づかないうちに背骨が折れている人も多いそう。健康寿命を延ばし、自宅での生活を続けるには「骨折しないことが大切です」とのこと。骨粗しょう症になると、骨を強くするために薬での治療が必要となりますが、現在、多くの治療薬が登場しています。「それぞれ、投与方法・間隔もさまざまなので、検査の結果や聞き取りをもとに、患者さ

らに合った薬を提案していただきます」と辻副院長。運動で下半身の筋力・バランス機能を向上させ、転ばない体づくりも大切なそう。「また先の話と想わず、50歳代で一度、骨密度検査を受け、自分の骨の状態を知ってもらい、将来の骨折を防いでもらいたいです」と呼びかけています。

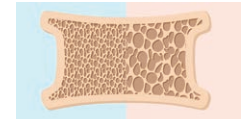
総合病院だからできるチーム医療

同院では各分野の医療スタッフが医師とともに、チームでサポートしてくれます。継続が必要な治療も、不安や疑問に丁寧に寄り添ってくれます。まずは気軽に相談を。

体を動かし、転ばない体を作る

骨粗しょう症とは？

骨粗しょう症は、骨がスカスカになり、骨折しやすくなる病気です。



左が健康な骨、右が骨粗しょう症の骨のイメージ

骨粗しょう症になると…

- 気づかないうちに背骨が折れて、腰が曲がってしまい、転倒しやすくなります
- 転倒して骨折⇒そのまま寝たきりになってしまうことも！

骨粗しょう症になりやすい人

- 50歳以上
- 閉経を迎えた人
- 糖尿病や腎臓病で通院している
- ステロイドを使用している

骨粗しょう症セルフチェック

ひとつでも当てはまれば、早めの受診を！

- 以前より、身長が縮んだ
- 壁に、かかと・おしり・背中を付けると、後頭部がつかない
- 立ち上がる時や、重いものを持つと腰や背中が痛む